

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : マグナライト FY-6500
会社名 : 電子磁気工業株式会社
住所 : 東京都北区浮間5丁目6番20号
担当部門 : 開発部
電話番号 : 03-5970-8681 F A X : 03-5970-8680
緊急連絡先 : 担当部門に同じ
作成日 : 2009年9月9日 改訂日 : 2016年8月22日
整理番号 : SDS15128-04
製品コード : 15128
推奨用途及び使用上の制限 : 磁粉探傷試験

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体 酸化性固体 金属腐食性物質	区分外 分類できない 分類できない
健康に関する有害性	急性毒性（経口） 急性毒性（経皮） 急性毒性（吸入：粉じん） 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 生殖毒性・授乳影響 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 特定標的臓器毒性（反復ばく露） 吸引性呼吸器有害性	分類できない 分類できない 分類できない 区分2 区分1 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 区分3（気道刺激性） 区分1（呼吸器系） 分類できない
環境有害性	水生環境有害性（急性） 水生環境有害性（長期間） オゾン層への有害性	分類できない 分類できない 分類できない

GHSラベル要素

絵表示	:			
注意喚起語	:	危険		
危険有害性情報	:	皮膚刺激 重篤な眼の損傷		

注意書き	呼吸器への刺激のおそれ		
	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器系）		
安全対策	…	粉塵を吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 保護手袋、保護眼鏡を着用すること。	
応急措置	…	皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断・手当を受けること。 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。医師の診断、手当を受けること。 飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。	
保管	…	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 施錠して保管すること。	
廃棄	…	内容物、容器を国、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託する。	

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学品名又は一般名	含有量(%)	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
酸化鉄	40～60	1317-61-9	1-357
有機蛍光顔料	20～40	登録済み	企業秘密
メラミン樹脂	5～15	9003-08-1	7-559

4. 応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
眼に入った場合	: 清浄な水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続け、最低 15 分間洗浄した後、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 水散水、粉末消火剤、泡消火剤等。
使ってはならない消火剤	: 全ての消火薬剤の使用可。

特有の危険有害性	: 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
特有の消火方法	: 消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。危険でなければ、火災区域から容器を移動する。延焼を防ぐため安全を確認の上、周囲の可燃物を除去する。
消火を行う者の保護	: 呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	: 作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や粉塵の吸入を避ける。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の 方法及び機材	: 河川等に排出され、環境へ影響をおこさないよう注意する。 : 飛散したものを掃き集めて、密封できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 「8. ばく露防止及び保護装置」に記載の設備対策を行い、保護具を使用する。 「8. ばく露防止及び保護装置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱注意事項	: 眼に入れないこと。 粉塵を吸入、又は飲み込まないこと。 取扱い後は、手を良く洗うこと。
保管	
保管条件	: 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に密閉して保管すること。
容器包装材料	: 包装、容器の規制はないが密閉式のものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 3.0mg/m ³ (粉塵)
許容濃度	
日本産業衛生学会 (2015 年版)	: 酸化鉄として吸入粉塵 1mg/m ³ 、総粉塵 4mg/m ³
ACGIH(2008 年版)	: TLV-TWA 5mg・Fe/m ³
設備対策	: 屋内作業場のうち換気が不十分な場所では、局所排気装置、または全体換気装置を設ける。洗顔器を設置する。
保護具	: 必要に応じて下記の保護具を着用する。
呼吸器用保護具	: 防塵マスク等。
手の保護具	: 適切な保護手袋。(PE 製やゴム手袋等)。
眼の保護具	: 適切な保護眼鏡。(ゴーグル型)。
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護着。(保護衣、長袖作業着)。

9. 物理的及び化学的性質

形状	: 粉体
色	: 黄緑色
臭い	: わずかな臭気

溶解度 : 水に不溶

10. 安定性及び反応性

化学的反応性、安定性 : 常温で暗所に貯蔵・保管された場合、安定である。
危険有害反応可能性 : データなし。
避けるべき条件 : データなし。
混触危険物質 : データなし。
危険有害な分解生成物 : データなし。

11. 有害性情報

急性毒性（経口） : データなし
急性毒性（経皮） : データなし
急性毒性（吸入） : データなし
皮膚腐食性及び
皮膚刺激性 : ヒトで発赤が生じ、moderate な刺激性がある (ICSC (J) (2004)、
IUCLID (2000)) との記載：酸化鉄
眼に対する重篤な損傷性
又は眼刺激性 : ヒトで corrosive (IUCLID (2000)) との記載：酸化鉄
眼に入ると機械的に刺激することがあるとの記載：蛍光顔料
呼吸器感作性
又は皮膚感作性 : 呼吸器感作性…データなし
皮膚感作性…データなし
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性 : ACGIH で A4 に分類との記述：酸化鉄
生殖毒性 : データなし
特定標的臓器毒性、
単回ばく露 : ヒトで咳が見られ、息苦しさもあるとの記載 (ICSC (J) (2004)、
IUCLID (2000)) : 酸化鉄
特定標的臓器毒性、
反復ばく露 : ヒトで胸部 X 線所見に異常を生じるが、臨床的に問題はないとの記載
(ACGIH (2001))、および肺に蓄積すると鉄症になるが、良性のもので
あり線維症に進展しないとの記載 (ACGIH (2001))。また、暴露により
金属熱にかかることがあるとの記載 (IUCLID (2000))。良性ではあるが
肺への影響が見られたこと、および金属熱にかかる可能性があるとの
記述：酸化鉄
吸引性呼吸器有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性 : データなし
残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

・内容物、容器などの廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託処理する。

- ・ 投棄禁止。
- ・ 埋立処分を行う場合には、あらかじめ焼却設備を用いて焼却し、その燃えがらについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」に定められた基準以下であることを確認しなければならない。
- ・ 燃焼する場合は、安全な場所で、かつ、燃焼または爆発によって他に危害または損害を及ぼす恐れのない方法で行うと共に、見張り人をつける。

14. 輸送上の注意

国連分類 : 該当なし
国連番号 : 該当なし

下記、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

消防法 : 非危険物
その他関係法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法 : 非危険物
化管法 : 該当なし
毒劇法 : 該当なし
安衛法 : 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(別表第9) 第192号酸化鉄
水質汚濁防止法 : 該当なし

16. その他の情報

本製品の安全データシートは、JIS Z 7253:2012 に従い作成したもので、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱い事業者提供されるものです。取り扱い事業者は、これを参考として自らの責任において個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

主な参考文献

原材料メーカー提供の安全データシート(SDS)

日本規格協会(JIS) JIS Z 7253:2012 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法」

NITE 化学物質総合情報提供システム (CHRIP)
